



日本共産党  
北茨城市委員会  
磯原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行  
市議団ニュース

ご相談は  
お気軽に  
市議会議員  
福田 明  
43-0468  
市議会議員  
鈴木やす子  
42-2462

# 「日本一災害に強い都市」

## 新潟県長岡市を視察

日本共産党  
北部議員団

党北茨城市議団では7月18～19日、新潟県上越市で特定健診事業、長岡市で防災事業をテーマに視察をおこないました。今号では、長岡市についてレポートします。

### 全国の自治体のモデル

新潟県長岡市は、人口28万人、面積891平方キロ。長さ日本一の信濃川が日本海に流れるまちです。

周辺10市町村との広域合併をはさんで、04年7月の新潟・福島豪雨、同年10月の中越大震災、07年の中越沖地震と、次々に大きな災害に見舞われました。また

先の大戦では市街地の8割が焦土と化しました。こうした経験から、長岡市では「日本一災害に強い都市」をめざす取り組みをすすめてきました。中越大震災の時は、災害対策会議をケーブルテレビで生中継し、災害状況や対策本部の指示を直接市民に伝達することができたといえます。防災体制の強化にむけた



備蓄基地となる屋根付き広場

特に06年に開講した防災大学では年間50人の市民防災安全士（地域の防災リーダー）を養成し、10年間で500人をめざす計画です。これらの長岡市での防災対策

主な取り組みでは、①地域防災計画の見直し、②各種災害対応マニュアルの作成、③市民向け防災パンフレットの作成、④災害情報伝達体制の整備、⑤避難所環境の整備、⑥中越市民防災大学の開講、が柱になっています。

### ボランティアの拠点

長岡防災シビックコア地区を訪ねました。消防本部庁舎や緑化センターのほか、大型防火水槽や災害用トイレを整備した防災公園があります。説明をうかがった「ながおか市民防災センター」もおかれています。

同センターは、防災学習の拠点であり、災害時はボランティアセンターになります。併設されている屋根付き広場は備蓄基地などとして利用されます。

### 子育て支援も

さらに、この防災センターが平時は子育て支援施設「こそだてのえき・ぐんぐん」として運営されています。屋根付き広場も、降雪

## 「エコフロンティアかさま」を視察



産党議員として立ち入り、視察をおこないました。

同施設では、今後1年半の間に、混合可燃物7500t、不燃物3万tを受け入れる予定になっています。

笠間市にある廃棄物処理施設「エコフロンティアかさま」では、宮城県石巻市の災害廃棄物を受け入れることを表明しました。県内の日本共産党議員団は、7月19日に試験納入した瓦礫については、搬出する石巻市の検査結果と、搬入された際のトラックごとの空間線量が測定され、公開されています。当地でサンプリング検査した結果は、数日後に判明、公表されるということです。

同所では、持ち込まれる廃棄物については基本的に書類検査でOKというのが現状です。ひきつづき注視の必要があると思われま

で野外活動が制限される冬の遊び場として活用されます。視察時にも元気な親子の歓声が館内に響いていました。

このほかに長岡市には3ヶ所の子育て支援施設があります。その一つ「こそだてのえき・ちびっこひろば」も訪ねました。市中心部で、撤退した店舗を利用したもので

児童図書専門の「まちなか絵本館」も併設されており、小中学生も利用することができま



北茨城のほか、日立、常陸太田、常陸大宮、那珂、ひたちなか、大子、東海の党議員が参加。



市中心街にある「ちびっこひろば」